

たかしん上半期ディスクロージャー誌

たかしんレポート

2021年4月1日～2021年9月30日

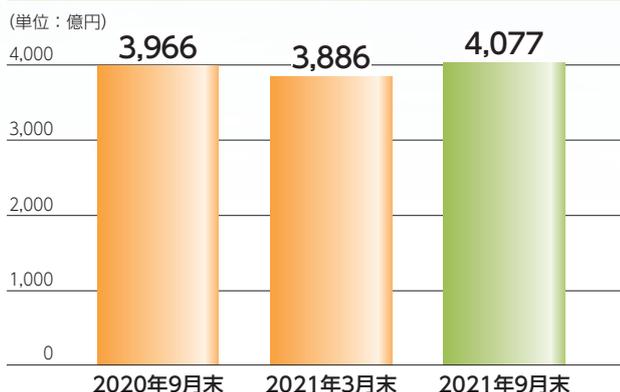


2021年度上半期(2021年4月1日~2021年9月30日)の主な経営情報をお知らせします。

預金積金の状況について

2021年9月末の預金積金残高については、4,077億円と前期末に比べ190億円増加しました。

●預金積金残高の推移



(単位：百万円)

項目	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
預金積金	396,645	388,652	407,733

貸出金の状況について

2021年9月末の貸出金残高については、金融・保険業向け融資が伸びたことから1,809億円と前期末に比べ17億円増加しました。

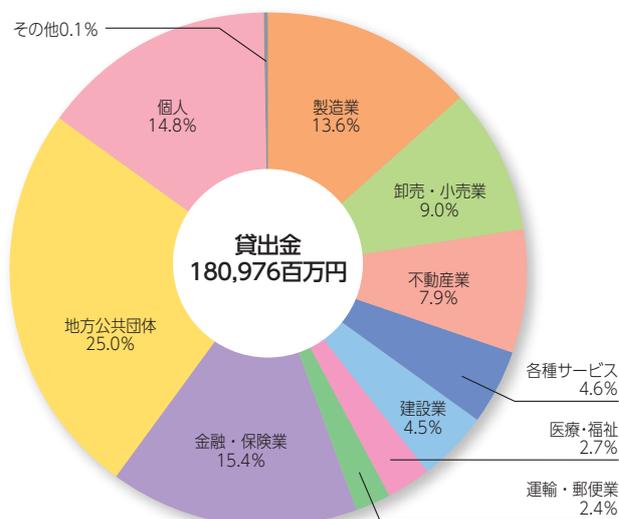
●貸出金残高の推移



(単位：百万円)

項目	2020年9月末	2021年3月末	2021年9月末
貸出金	178,609	179,184	180,976

●貸出金業種別構成比(2021年9月末)



収益の状況について

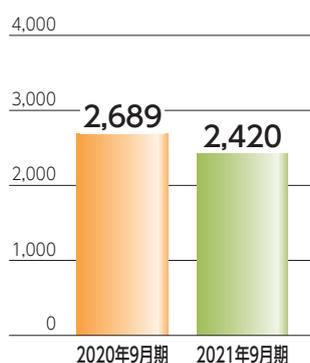
有価証券利息配当金の減少を主因に、経常収益は前年同期比269百万円減少し、本業のもうけを示すコア業務純益は131百万円減益の406百万円となりました。また当期純利益は89百万円減少し、328百万円となりました。

(単位：百万円)

項目	2020年9月期	2021年9月期
経常収益	2,689	2,420
コア業務純益	538	406
経常利益	442	411
当期純利益	417	328

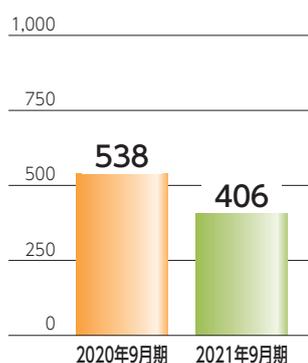
● 経常収益の推移

(単位：百万円)



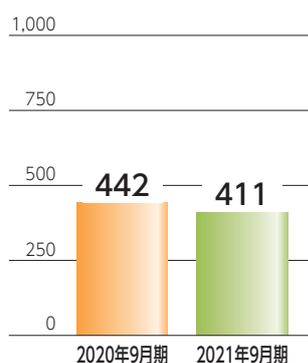
● コア業務純益の推移

(単位：百万円)



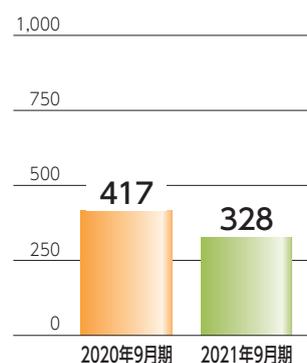
● 経常利益の推移

(単位：百万円)



● 当期純利益の推移

(単位：百万円)



有価証券の評価損益について

地域の皆さまからお預かりした預金積金は、貸出金や金融機関預け金のほか有価証券で運用しております。評価損益は、国内外の金利低下により前期末比142百万円増加し、3,274百万円の評価益となりました。

(単位：百万円)

	2021年3月末				2021年9月末			
	残高	評価益	評価損	評価損益	残高	評価益	評価損	評価損益
満期保有目的	3,350	48	—	48	3,150	45	—	45
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	150,290	4,852	1,770	3,082	152,977	4,609	1,380	3,228
株式	384	65	16	48	348	32	19	13
債券	87,852	580	499	80	88,715	635	240	395
その他	62,054	4,206	1,253	2,953	63,912	3,940	1,120	2,820
合計	153,640	4,901	1,770	3,131	156,127	4,654	1,380	3,274

(注) ●残高は、各末日における市場価格等の時価に基づいております。

●「評価益」「評価損」は、それぞれ「評価損益」の内訳です。

不良債権の状況について

2021年9月末時点で厳格に資産査定した結果、貸出金や債務保証見返などに対する金融再生法ベースの不良債権額は10,210百万円となりました。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する引当・保全状況

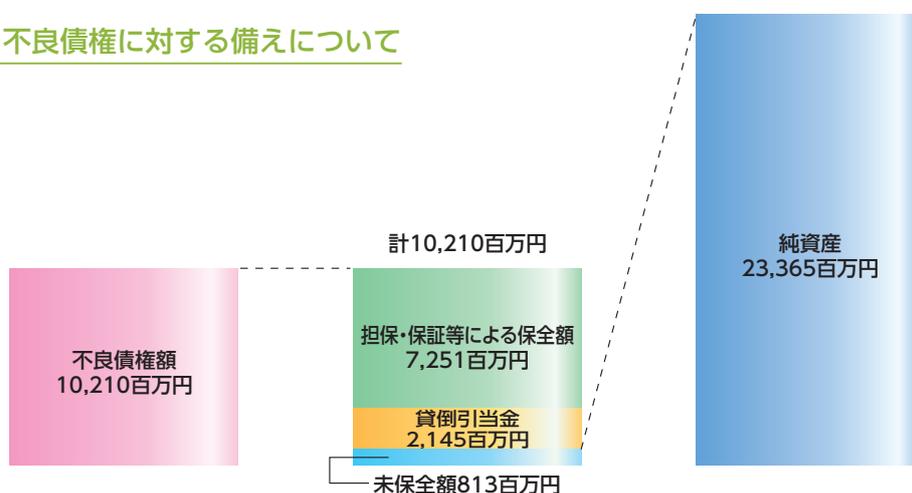
(単位：百万円)

区 分	2021年3月末	2021年9月末					
	開示残高	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等 による回収 見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b/a)	引当金 (d/(a-c))
金融再生法上の 不良債権(A)	10,511	10,210	9,396	7,251	2,145	92.03%	72.50%
破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,996	1,980	1,980	1,579	400	100.00%	100.00%
危険債権	8,036	7,724	7,178	5,458	1,719	92.92%	75.89%
要管理債権	478	505	238	213	24	47.12%	8.41%
正常債権	169,099	171,893	(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。 3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。				
合 計(B)	180,210	182,103					
不良債権比率 (A/B×100)	5.83%	5.60%					

不良債権に対する備えについて

金融再生法ベースの不良債権額は10,210百万円ですが、担保・保証等及び貸倒引当金計9,396百万円により保全され、保全率は92.03%と高水準となっております。未保全額は813百万円となりますが、これに対して純資産の総額は、23,365百万円あり、不良債権に対する備えは万全です。

●金融再生法に基づく不良債権に対する備えについて



自己資本比率について

自己資本比率は2021年3月末比0.29ポイント低下し、12.10%となりました。なお、この比率は、国内基準に適用される4%を大きく上回っております。

●自己資本比率の状況

(単位：%)

決算期	自己資本比率
2021年3月末	12.39
2021年9月末	12.10

●自己資本比率の内訳

(単位：百万円)

項目	2021年3月末	2021年9月末
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	20,969	21,354
コア資本に係る調整項目の額 (B)	39	75
自己資本の額 (C) = (A) - (B)	20,929	21,278
リスク・アセット等の額の合計額 (D)	168,794	175,731
自己資本比率 (C) / (D)	12.39%	12.10%

コア資本に係る基礎項目とは自己資本の中の出資金、利益剰余金等をいいます。リスク・アセットとは、リスクに応じた掛目を乗じた後の資産をいいます。

たかしん次世代リーダーの会「KI・ZU・NA」の総会を開催

2021年4月14日(水)に開催された「KI・ZU・NA」総会で挨拶される高野副会長(写真左)と基調講演される「町工場の娘 主婦から社長になった2代目の10年戦争」の著者、諏訪貴子氏(写真右)。



高岡古城公園内で清掃活動のボランティア活動を実施

2021年5月25日(火)、高岡古城公園で新入職員14名による清掃活動を行いました。当金庫では毎年、新入職員研修の一環として高岡古城公園の清掃活動を行っています。



還付金詐欺未然防止により高岡警察署より表彰されました

2021年6月7日(月)、当金庫昭和支店が還付金詐欺を未然に防止したことで、高岡警察署より表彰されました。



公益財団法人 産業雇用安定センターと富山県初の連携協定を締結

2021年8月31日(火)、公益財団法人 産業雇用安定センター富山事務所と富山県初となる連携協定を締結、コロナの影響を受ける企業へ「在籍型出向」という形で支援を開始いたします。



(左より当金庫 吉岡理事長、(公財)産業雇用安定センター 富山事務所 西島所長)

